



広田小学校区防災訓練



広田小学校区にて防災訓練を実施しました。

約700人を超える方が参加をされ、活気のある訓練となりました。参加者からは、「防災のことが楽しく学べた」、「子供と一緒に防災について考える機会になって良かった」など、訓練をやってよかったとの意見が多く聞かれました。



実施日時：平成28年5月22日（日） 9：20～12：00

実施場所：広田小学校区 及び 広田小学校

参加人数：約700人

訓練主催：西宮市

訓練協力機関：防災士会、神戸女学院大学、本庁北地区消防団



<実施内容>

○避難訓練

防災スピーカー、消防団による巡回広報を合図に避難開始。
避難経路を確認しながら、小学校への避難を行いました。



○広田小学校での体験型訓練

小学校へ到着後、各コーナーに別れて体験型訓練を行いました。
詳細は下記 URL（広田小学校区防災訓練実施要領）をご覧ください。

http://www.nishi.or.jp/media/2016/hirotasyougakkoukubousaikunren_jisshiyouryou_1.pdf



～ 訓練の様子 ～



災害用トイレの組み立てを体験



備蓄品について防災士による講演が行なわれました。



担架や毛布を使って負傷者の搬送を体験



ポンプを使った放水訓練



AED の取扱説明と震災写真パネルの展示



ボール等を使って倒壊した家屋からの救出を行ないました。



土のう作りを体験



子供たちを対象にした防災講座



子供たちを対象に神戸女学院大学学生による防災クイズの様子



消防士コーナーでは消防服の試着などを行ないました。



地域の方がアルファ化米の炊出しを行ないました。



子供たちが参加者に炊出しを配ってくれました。



バケツリレー競争の様子。多くの子供たちが参加をし、盛り上がりました。

○消防訓練展示、講評

消防団・消防署による訓練展示を行いました。



大社分団と消防局による消防訓練が展示され、見学者からは大きな拍手がありました。



防災啓発課による講評

<結果>

非常に多くの方が参加をされ、盛り上がりのある訓練となりました。

子供防災コーナーでは、約 200 人が集まり、防災講座や神戸女学院生によるクイズ「防災ウォッチ」で楽しく防災を学んでいました。

バケツリレー競争でも大人と子供が入り混じり、白熱した勝負を繰り広げていました。勝ったチームにはアルファ化米が配られました。

参加者からは、今後も防災訓練が必要という意見が多く、地域で防災について考えるきっかけとなりました。



今後も、市内南部地域の小学校区で順次開催していきますので、お住まいの地域が対象となった際は、ご参加・ご協力のほどよろしくお願い致します。

なお、訓練実施スケジュールについては、下記西宮市ホームページをご覧ください。

(小学校区訓練：リンク先↓)

<http://www.nishi.or.jp/contents/0003690800030002000832.html>

< アンケート ～ 意見・感想 ～ >

・お互いに近くの人と協力し合うことが必要と思いました。参加させていただいて良かったと思います。
・このような訓練を続けて災害に対して常に備えるべき。地震予知等については限界がある。
・防災士さんのグッズ紹介が役に立った。
・すぐ忘れるので、定期的にあるとありがたいです。
・防災について興味はあるけれど、何か踏み出せないという人が最初の一步を踏み出すきっかけになると 思います。体験コーナーもあり、子供たちも楽しく参加できたと思います。
・訓練はできるだけ多くお願いします。
・実際の避難場所としての訓練もあればよかった。
・帽子をかぶっていない子供、大人が多いのが気になった。防災面からも日頃からかぶる習慣付が必要か と思います。
・2年に1回くらい希望。
・消火器の使い方を教えてほしかったです。
・エコカードのスタンプ・試食・プレゼントがうれしかった。
・防災スピーカーは、窓を閉めていると「ポーン」として聞こえにくかったです。
・参加者がもっと多いかと思いました。
・エコスタンプがもらえて嬉しかった。
・以前別の場所で訓練に参加したが、忘れていることが多く、年に一度は訓練が必要だと思った。
・防災訓練があることのPR不足。防災サイレンは聞こえるが、何を言っているのか判らない。
・トイレのコーナーがよくわかった。
・質問したことに答えてもらって良かった。
・ご飯がおいしかった。あと、エコカードのスタンプ。
・帽子をかぶっていない子供、大人が多いのが気になった。防災面からも日頃からかぶる習慣付が必要か と思います。
・高座町15付近には放送が明確に聞こえませんでした。
・非常食が意外においしかった。
・防災の意識を高めるために必要だと思います。
・愛宕山20付近は、毎回外に出ていても全く聞こえません。
・回数を重ねることが大切だと思った。
・帰宅したら防災グッズをそろえます。
・町ごとに集まるのは、顔見知りがいって安心できるのでよい。丸橋町のように目立つ表示があるとよい。 (たとえばトイレの明示など。) クラブハウストイレは男女の別が無いので使いづらい。
・短時間だとよい。
・防災のことが楽しく学べた。
・ありがとうございました。
・子供と一緒に防災について考える機会を頂けて良かったです。日頃から気を付けたいと思います。